

「教育の日」に係るアンケート回答 覧

H22.5.13現在

番号	所属・職名等	① 「教育の日」の意義や理念について	② 「教育の日」を定める場合の時期や期間について	③ 「教育の日」関連行事として、各団体で考えられる活動内容について	④ その他
1	高知県退職高等学校長会	今日の学校・家庭・地域社会の一部に見られる異常とも思える現象は、教育関係者のみならず、県民の心を憂慮させています。この現象を沈静化させる術は、直ちに見つからないかもしれませんが、1年に1日でもよい、県民一人ひとりが、個人や仲間の人々と(今の教育の在り方を考える)機会を設けて、相互に考え、話し合い、そこで見つけたことを世に問うことが大切です。「教育の日」は、このように高知県教育の一層の振興を期して(共に考える日)として制定を目指すべきです。	11月1日 (全国連合退職校長会が文科省に働きかけ、全国で一斉に「教育の日」して制定を目指している日。)	各地域、各学校の実状に応じた活動。 (持続性のある活動) 具体例:講演会、発表や展示、学校公開、シンポジウム、親子の集い、地域懇談会、スポーツ大会、読書会、子ども集会、ボランティア活動、フォーラム、フェスティバル、PTA大会、子育て支援活動、教育委員との懇談	県外の市町村の実情状況を調べていただき、規模の似た県内の市町村に情報提供をして欲しい。 最終的な目標は各県と協力して、文科省のサイト「熟慮カケアイ」に投稿、討論をするなどして、文科省に働きかけ、国会に投げ込むことです。
2	高知県退職女性校長会	子どもの虐待が報道されるたびにその異常さに憂慮する。 何とかしなければという思いはみんな同じであろう。 子どもの幸せと県民みんなが、もっと教育について注目していこうという教育に対する意識を高めるため、「教育の日」を制定することは大変意義のあることだと思う。	11月第一土曜日、又は日曜日(参加しやすいため)	・地域に応じた活動を考える。(地域に目を向けてPTA・若いお母さん) 例:学校自由参観日、保護者だけではなくその地域に住む方々も自由参観とし、懇談会・子どもと遊び・地域を歩くスポーツ大会 ・現職女性校長会と退職女性校長会の連携を深めるための交流の日とする。	・他県がどのような取り組みをしているか情報提供を望む。 ・推進にあたっての予算(補助)化が必要。 ・県として新聞等に多めに広報活動をするなど懸念が高まる。(例:市のあるかい町)
3	高知縣市町村教育委員会連合会				
4	高知県公民館連絡協議会				
5	社団法人高知県子ども会連合会	教育の日の意義は、教育を行うものが、教育の二つの性格、すなわち、教育の普遍性と時代性をしっかりと見つけ、教育の今を県民と共に考え行動する日であるべきではないだろうかと考えます。さらに願うのは、教育の日は教育を行う者に対する正しい理論と方法を提起し、一層の向上を願う日と考えるべきではないでしょうか。	設定を行うその行事に合わせて、設立するのが普通ですから、11月においてもいいと思います。教育を行うものが、その場所で、受け持つところで、自らの教育を点検し、振り返る、時には決意を固める。県民が必ず同じ時間に、同じように参加し、それでいて、それぞれの場所におけるの自主性を生かすことを考えるべきではないでしょうか。	いろいろの行事の企画者に、「教育の日」協賛事業を企画していただきそこには、知事以下行政もボランティアも企業教育担当者も学校教育も、そして大切なのは、住民を教育する関係者が集うイベントがあり、それがベースとなるべきです。高子連では、年間に行われる、指導者育成事業を中心に、教育的機能を十分活用できる事業を選び協賛事業として、計画してみたいと考えます。	「教育の日」は教育を担当する機関や、行うものが、それぞれの場に集い、行ってきた教育の成果や、これからの計画を具体的に提起し、県民に、教育を担当するものの、責任とその具体的内容について、理解を求める日であってほしいと考えます。特にわたしたち社会教育関係団体における教育機能は、社会から正しく評価されていません。日の当たらない社会教育の現場に活動する、名も無き教育者の承認や評価も行うべきではないでしょうか。行政の教育担当者が、教育を理解してません。ただ毎年、同じ行事を繰り返し、何が教育なのか理解されていません。ここから変わるべきです。教育を行うものの教育が皆無に近い状態です。学校教育のみを教育とし、子どもの学力と体力を部分的にしか評価できない現在の教育組織や、指導者に、教育効果を期待するのは無理です。教育者の教育、教師、親、社会教育の教育者等の教育を行うことこそ、急務です。

# 「教育の日」に係るアンケート回答一覧

H22.5.13現在

番号	所属・職名等	① 「教育の日」の意義や理念について	② 「教育の日」を定める場合の時期や期間について	③ 「教育の日」関連行事として、各団体が考えられる活動内容について	④ その他
6	高知県社会教育委員連絡協議会				
7	高知県青年団協議会	趣旨は理解できます。 意義も感じます。	世論調査の結果を受けて決めるのが良いと思います。 「2の「教育の日」とその日を含む1週間」か、「4の「教育の日」として毎月特定の日を指定」		継続的な啓発、事業の開催 学校を中心とした取組
8	財団法人高知県体育協会				
9	高知県保幼小中高PTA連合体連絡協議会 (H22.4.27第1回教育振興基本計画推進会議での意見発表内容)	我々の団体は、教育は家庭が基本であるという考えのもとに活動を行っている。 しかし、家庭だけでできるものではなく、家庭と学校、地域と行政が一体となって考え、教育に対する理解や関心を高める活動を行っていくべきと考え、教育の日がそのひとつのきっかけとなれどと考えている。	他県と横並びということではないが、11月は我々の団体にとって、PTA活動の研究大会や研修等が集中し、教育について考える時期として、11月は非常に適しているのではないかと考える。 また、新しい事業の創設ということも大切だと思うが、既成の事業を洗い直して内容を更に充実させることも大事だと考える。	毎年7月の第2日曜日に高知県のPTA研究大会を開催しており、日頃の課題について語り合い協議し、方向性を出す場となっている。この開催日を11月に移すとなると、所属している各団体の年間行事も動かさなければならず、各単Pの活動等にも影響が出ることから、すぐに移すということではできない。様子を見ながらということになると思う。	県民への周知が十分でなく知名度が低いと思う。そのためには、キャッチフレーズやシンボルマーク、テーマソングの募集などを行って知らせていくことも必要ではないかと考える。また、教育の日の制定によって、子どもが一番に恩恵を受けなければならない。頑張っている子ども達をマスコミ等で紹介して、更にやる気を起こさせるような取組や、県立の美術館や動物園などを子ども達に無料開放するなどの取組も必要ではないかと考える。更にいろいろな体験をさせることも必要と思われることから、「一日知事」や「一日県教育長」、「一日市町村長」など減多に経験できない職業を体験させ、子ども達がこれから目指したいものを考えるときひとつのきっかけとなれどと考える。
10	高知県連合婦人会				
11	社会福祉法人高知県社会福祉協議会	11月に開催される「全国学習フォーラム」の精神を高知県(地域)に根づかせるものにする。	11月20日(同フォーラム総合開会式の日)	県社協、市町村社協による「福祉教育」の出前抗議(授業)(公的団体、企業、学校)	・これまで制定した「〇〇の日」の評価・検証(効果がない場合「それは何故か」など) ・行政主導でない取り組み (「ああ、またこのメンバーか」と思われぬよう EX、NPOやボランティア、学生を前面に出すなど)
12	財団法人高知県老人クラブ連合会				

# 「教育の日」に係るアンケート回答 覧

H22.5.13現在

番号	所属・職名等	① 「教育の日」の意義や理念について	② 「教育の日」を定める場合の時期や期間について	③ 「教育の日」関連行事として、各団体に考えられる活動内容について	④ その他
13	高知大学	大ざっぱな意義や理念は教育関連に携わっている者として理解できるが、一般市民にとっては漠然としすぎてよく分からないと思われる。もう少し具体的に「教育の日」について定礎し、意義や理念を示すべきである。	「教育の日」は〇月〇日と定めれば良いと思うが、その活動はピンポイントでその日のみとするのではなく、少なくとも1週間くらいの余裕があった方がよいと思われる。	・両親が学校の講師となり、父兄も参加する授業参観日をつくる。(面白いのではないか) ・野外へ出て、フィールド授業を行い、その講師を大学教員が行う。	現場の先生方(小・中・高校)の意識改革。
14	高知女子大学	制定については賛成です。 趣旨については、四国の他県の資料を参考にすると、「教育」という用語の範囲に若干の相違があるように思います。つまり、社会教育を含めた生涯学習を想定するのか、学校教育を中心にするかですが、これは制定後の事業内容にも関係すると思います。	11月1日を「教育の日」とし、その後1週間を教育週間とする。	各学部で実施する公開講座等(但し、日程は必ずしも教育週間とは一致しない)	特になし
15	高知工科大学				
16	放送大学高知学習センター	・県民ひとり一人がそれぞれの立場で教育について考え行動する期間とする。 ・学校と家庭が教育力を向上する期間とする。 ・生涯教育の充実を図り、多くの県民に場と機会を提供する。	多くの県が実施している11月1日とし、県民教育週間とする。	・放送授業の体験を各地域の学校や公民館等で実施する。 ・放送大学高知学習センターの客員教員による出前講演会を実施する。	
17	高知工業高等専門学校	県民の教育に関する関心を高め、学校、家庭、地域社会が連携し教育に参加する意識を持ち活動する環境整備は大切である。その活動は、地域や各機関が独自に計画し実施するよりも、県下一斉に計画するほうが効果的と考えられ、それが「教育の日」であってもよい。	「教育の日」を定め、その日に(または週間に)何らかの行事を行うなら、全国一斉の方が広報や意識の共有化の面から望ましく、多くの県が制定している11月1日(その後の1週間程度)がよい。	学校で開催される文化的行事を、学校、家庭、地域社会参加型として実施し、相互理解を深めるとともに連携した教育に発展させてゆく。	学校、家庭、地域社会が各種行事に進んで参加する意識を育てるためには、参加できる環境整備が必要である。そのためには日曜日開催なども検討すべきである。また、スタンプラリー的要素も入れて、保護者が行事に参加した実績をお互いに確認できるようにする。

# 「教育の日」に係るアンケート回答一覧

番号	所属・職名等	① 「教育の日」の意義や理念について	② 「教育の日」を定める場合の時期や期間について	③ 「教育の日」関連行事として、各団体で考えられる活動内容について	④ その他
18	社団法人高知県専修学校各種学校連合会	<p>現在の社会状況を考えれば、初等中等教育はきわめて重要である。人材の育成には学校・保護者(家庭)・地域の連携(子供同士の遊び、大人との対話、職場の見学など)が必要であり、それぞれの役割を明確にする必要がある。</p> <p>例えば、帰校途中の低学年生の保安上などに配慮を要し、県として全般の考え方をまとめる必要が考えられるが、「教育は学校、続は家庭、人間関係は家庭と学校と地域」などを明快にうたうのはどうか。</p> <p>(1)学校の考え方                      ア 学校は教育の場であり教科指導を重視する。                      イ 指導要領で定めた内容は最低限の指導事項であり、それ以上のものをこなせる子供には進んだ教育をしてよいことを、県が積極的に周知する。                      ウ 教員は自らの学力と指導力の向上に研鑽し、分数が分からない子を作らないような教育を目指す。                      エ 子供は学力が向上すれば、自ずと明るくなり積極性が養われ、課外活動にも参加すると思われる。                      オ 教科成績の良い子だけに注視せず、運動抜群の子、手先の器用な子などにも敬意を払う心を教員自らが醸成する。</p> <p>(2)保護者(家庭)の考え方                      ア 保護者は学校教育に関心をもち、かつ、学校に介入することのないようにする。                      イ 学校は教育の場と認識し、課外活動は学習を保障した後の余暇活動であることを認識する。                      ウ 学校に教科指導の厳しい注文をすることはよいが、その他の要求はしないようにする。学校の問題点は直接学校に言うこととし、子どもに言うのは教育に悪影響があると認識する。</p> <p>(3)地域の考え方                      ア 地域の協力は多岐にわたり有形無形のものがあるので、学校を見守り援助できるところは積極的に援助する。衰廃されるのは、開かれた学校作り以後、学校が地域住民や親の社交場のようになっている状況が一部にあることである。                      イ 子供同士の遊びができる学校作りに地域が協力する。                      ウ 親の仕事内容を知らない子どもが増えた現状から、放課後などを利用して、職場見学などの機会を増やす。                      エ 「昔の学校では、先生が子どもを見送ったものであるが、今の学校は子どもたちが遠距離通勤の先生を見送っている。」などといわれないように、先生方も暮らし方として地域に溶け込むようにし、地域もこれを支える努力をする。</p>	<p>1年間の特定の日ではなく、教育週間または月ごとに日を定めるのが良いと考える。また定めたら必ず継続する必要がある。行事に対する予算執行はきちんと点検し、制定した「教育の日または週間」が意義あるものにする必要があると思われる。</p>	<p>準備が相当必要であり、高知大学と本連合会の連携が必要となるが、「教育は学校、続は家庭、人間関係は家庭と学校と地域」に沿った、「親学※」のような考え方の取り組みを高知で初めてみてはどうかであろうか。                      ※既に行われている「親学」と同じものを意味しない。</p>	<p>上記の①と②について、これらを実現する取り組みであれば、「教育の日」の制定に大いに意義がある。しかし、過去の行政にあったような「かけ声」だけににならないように具体策を作り、計画と実績を詳細に点検することが重要と思われる。</p>
19	高知県保育士会				

# 「教育の日」に係るアンケート回答 覧

H22.5.13現在

番号	所属・職名等	① 「教育の日」の意義や理念について	② 「教育の日」を定める場合の時期や期間について	③ 「教育の日」関連行事として、各団体が考えられる活動内容について	④ その他
20	高知県私立幼稚園連合会	学校・家庭・地域の各々が教育力を発揮し、互いに連携し合うことによって、子どもたちを高めていく。	・他県と同じ11月1日だよと思う。 ・教育週間として、11月第1週を設定し、その期間内に様々な取組みを行ってはどうか。 例:学校の参観、保幼の参観等	幼小連携の場を各地域で実施する。 例 高知市の場合:中央・東・西・南・北地区のブロックを設け、その地域内の保幼小の先生達が集まって、地域の子どもを中心とした研修活動を行う。	打ち上げ花火的なイベントを実施しただけということにならないよう、着実な取組みを期待したい。
21	高知県小中学校校長会	良いと思います。	1週間、1ヶ月間という期間の中で取り組むことが良いと思います。	各学校、地域の実態に応じた内容であり、意識理念に沿っていれば、特に決める必要はないと思います。今年の予定は、各校で決定し、保護者にも知らされていますので、新たに体験活動を追加したり、日程変更することは難しいと思います。	「全国生涯学習フォーラム高知大会」そのものが、十分に県民に周知されていない現状だと感じています。「教育の日」の制定も県内各団体に一層の周知が必要だと思います。
22	高知県私立中学高等学校連合会	香川、徳島、愛媛三県と同様のものだと思います。	他県にあわせて11月1日だと思います。	高知県私立中学高等学校連合会として活動は考えていません。私立9校が個別に対応されると思います。	なし
23	高知県高等学校長協会	今日、本県の抱える様々な課題を県民一人一人が、学校教育や社会教育の視点から、教育のあり方を考える機会を設けて、「人づくりは教育にある」ことの意義を県民に強く響き渡らす「教育の日」の制定を目指すべきである。	教育の日は、11月1日とし、11月の月間を教育月間とする。 (教育の日は、全国的に戦後の教育制度の整った、11月1日の制定を目指している。)	月間中の具体例、 高等学校では ・高等学校総合文化祭の充実 特別支援学校では ・高P連特別支援学校支部 PTA研修の充実	
24	高知県商工会議所連合会	高知県が成長・発展し、住み良い地域となるために、教育改革は必要と考えます。 そして、教育は、学生だけでなく、社会人になっても必要なものであり、「教育の日」制定は、生涯学習の風土づくり、学ぶ意識の高まりが期待でき、非常に意義があると考えます。ただし、セレモニー的ではなく、実際に①学ぶ人の意識向上(目的意識)、②学ぶための習慣づけ、③生活態度の改訂(早寝早起き、朝食、テレビやゲームの時間を減らす)、そして、質の高い教育環境づくりが必要であると考えます。 学生が学ぶ風土づくりであれば、「教育の日」が良いと思いますが、社会人等も対象として生涯学習も含めるならば、「教育の日」より、「自分づくりの日」、「高知学びの日」、「高知共育の日」などのネーミングで、広く県民に呼びかけるべきと考えます。	学ぶ人の意識向上 (1月実施、今年1年の想い、目標のために学ぶことを考える) (1月実施、高知県の偉人をテーマに、その考え、行動などを深く理解し、やる気の醸成、社会貢献意識を高める)  学ぶための習慣づけ (自分で何かテーマを決め、1ヶ月間チャレンジをする期間の設置)  生活態度の改訂期間 (毎月1週間、事務局で年代ごとにテーマを決め、実践してもらう) (早寝・早起き週間、ノーテレビ週間など)	・学校等の授業に、地域で活躍されている経営者の派遣、職場体験の輪旋 ・高知商工会議所の会報(約3,200企業)を通じて、関連事業の啓蒙活動 ・「教育の日」にあわせて企業向け(経営者や従業員向け)セミナーの実施	学校、家庭、企業などが協力して、実施することが必要と思われます。 また、1年目はモデル市町村を県内に数府所以上設置し、徐々に高知らしい取組を発見し、実践・各地へ浸透させる方が良いと思われます。

# 「教育の日」に係るアンケート回答一覧

H22.5.13現在

番号	所属・職名等	① 「教育の日」の意義や理念について	② 「教育の日」を定める場合の時期や期間について	③ 「教育の日」関連行事として、各団体で考えられる活動内容について	④ その他
25	高知県商工会連合会	<p>▽多くの方々や組織が「教育の日」を制定すべきということになれば、特に反対はいたしません。ただ、こういう形をつくれれば高知県の教育力が上がるという発想はもうそろそろ卒業していい時期。 ▽高知県の教育力の向上のためには ①すばらしい意欲をもった先生方をどれだけつくるか ②社会のルールや人間としての規範を守る大切さをきちっと教える家庭の教育力が重要だと思います。</p>			
26	高知県農業協同組合中央会				
27	高知県森林組合連合会				
28	高知県漁業協同組合連合会				